

教科（科目）	理科（化学基礎）	単位数	2単位	学年（コース）	2・3年次
使用教科書	実教出版『高校化学基礎』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。 ②勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ③社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。 ②二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。 ③自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組みます。 ④地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。

2 学習目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・物質を構成する粒子と化学結合の関係を学び、物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解する。 ・身近な物質や現象を通して基本的な化学の原理・法則を理解し、科学的な自然観や思考力を育成する。 ・化学は物質を探究し創造する学問として、人類に貢献していることを確認する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	身近な物質とその変化を理解し探究する過程を通して、事象を科学的に分析・判断し、的確に表現することができる。	物質とその変化の理解に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査や小テストの分析 ・ワークシートやレポートなど課題の内容から評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査や小テストの分析 ・実験や観察への取り組み ・ワークシートやレポートなど課題の内容から評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業へ出席や取り組み ・ワークシートやレポートなど課題の内容から評価します。
各観点について、「A：十分満足できる」「B：概ね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。			

6 学習計画

月	単元名	項目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	1 物質の構成	1-1 物質の探究	・物質の分離・精製や元素の確認を通して、混合物、単体、化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度、および物質の三態変化の関係について理解する。 ・原子の構造と電子配置、周期表を理解する。	19	課題と前期中間考査
5		1-2 物質の構成粒子			
6					
7	2 物質と化学結合	2-1 イオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合とイオン結晶の性質を理解する。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ・分子からなる物質の性質を理解する。 ・金属結合及び金属の性質を理解する。	19	課題と前期期末考査
9		2-2 共有結合			
		2-3 金属結合			
10	3 物質の変化	3-1 物質量と	・物質量と質量や気体の体積の関係、濃度を理解する。	16	課題と

11	化学反応式 3-2 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応式は化学変化と量的関係を示すことを理解する。 酸と塩基の性質、強弱と電離度の関係を理解する。 水素イオン濃度とpHの関係、中和反応を理解する。 		後期中間 考查
12	3-3 酸化還元 反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。 	16	課題と 後期期末 考查
1				
2				
3				

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ワークシートや小テストを課し、提出を求めます。定期考查はこの内容をもとに行います。
- 観察や実験では、レポートの提出を求めます。

8 担当者からの一言

真面目にコツコツと学ぶ姿勢を求めます。授業に熱心に取り組んで課題を提出し、復習をていねいに行って定期考查に臨んでほしい。化学の知識を深め、論理的な思考を身につけて下さい。